

IWAKUNI CITIZEN MANDOLIN CLUB

岩国市民マンドリンクラブ 第21回マンドリンコンサート
昭和53年8月15日(火)



残暑お見舞い申し上げます

暑さ殊の外きびしき折柄

皆様のご健勝をお祈り致します

岩国市麻里布町1丁目7-13

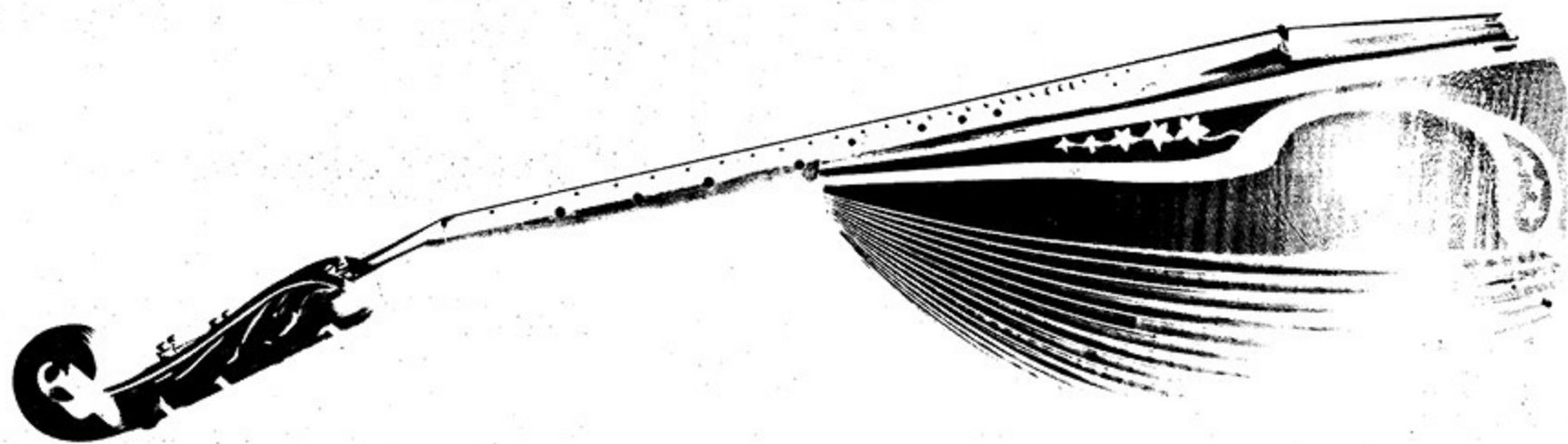
セイコー印刷

石川 勲

電話 (0827) 21-5546

第**21**回マンドリンコンサート

- ◎と き 昭和**53**年**8**月**15**日(火)
- ◎と ころ 岩 国 市 体 育 館
- ◎主 催 岩国市民マンドリンクラブ
- ◎後 援 岩 国 市 教 育 委 員 会



ごあいさつ

我国には、四季が明白に分かれていて、折々の風情に満ちた姿は、生活に潤をもたらし、疲れをいやしてくれるのですが、じめじめとした梅雨の空気は、気もめ入りますが楽器にとっても大敵なのです。マンドリン・ギターは、ご承知の通り紺碧の空のもと地中海に生まれ乾燥した空気を好みますが、日本ではそうした時ばかりは選べません。この会場のように楽器の表に露さえつきそうな、おおよそ不適當な雰囲気での演奏会もあり得るのです。もっとも楽器ばかりではなく、ご鑑賞中の皆様方だって、最悪の条件であるに違いありません。

先日、岩高プレクトラムアンサンブルは、第31回定演を梅雨の真最中に、不本意ながら開催いたしました。これは、受験制度の一部変更の影響によるもので、本来なら従来通り秋のシーズンになされるべきものなのでしょう。

悪口をつきながらも、当クラブ21年の歴史の中で昭和40年以来11回と、半分はこの会場でお世話になりましたが、来年のオープンを控え新装市民会館が建設中です。11万市民の何十年来の待望がようやく叶えられ、文化活動の中核・殿堂として大いに利用がはかれることでしょう。

私達も、近年演奏旅行してみても、他地のホールの充実優秀さに目を奪われるとともに、地元での演奏に今一つ集中力に欠けるきらいも

あり、またプログラムにも発展的なアイデアも活かされず、不満の残る心を抑えながらの数年でしたが、来年の22回からは市民会館で演奏できることを喜びながら、長年にわたって当クラブの成長を見守ってくれた体育館に借別の情を込めた演奏を捧げたいと思います。華やいだステージの陰には、毎年会場作りを手伝ってくれる岩高プレクトラムアンサンブル部員の方々や、受付けをしてくださるOGの方々に深甚なる敬意と感謝の意を申しあげます。

今年からは、20回代の新しいイニングに入ります。時代に合った若い諸君のエネルギッシュな活動により、ICMCは新時代を切り開いて行くことを願ってやみません。

最後になりましたが、ご来場の皆様方を初め各方面からの力強いご援助を頂きましたことを厚くお礼申し上げます。

岩国市民マンドリンクラブ

会長 三浦 孔 司

珈琲専科 **角日葵**
ひ ま わり

岩国駅中通り（アーケード街）
☎ (0827) 22-8541

豊かな暮らしにご奉仕する

家具の山崎

岩国市麻里布町6丁目4-16 ☎ 21-3989・5425

メッセージ

岩国市民マンドリンクラブ (ICMC) の皆様、第21回定期演奏会の開催おめでとうございます。

メンバーの皆様は社会に出られ、御多忙の中を一生懸命練習されながらも毎年、大成功を納められており「さすがはICMCの方々だ」と思わずにはられません。

私達は、プレアンの創設者である熊谷幹雄先生のことを先輩から伝え聞きしておりますが、ICMCの中には先生をよく知っておられる方々もたくさんおられると思います。そのなくなられた先生の心意気を継がれこうしてICMCが健在していることにより、また「岩国高校プレクトラムアンサンブル」も、ここにあるのだと思います。

先輩方は練習中にもよく見に来られ、私達に厳しい御批判や暖かい励ましを残されて、本当に感謝致しております。これからも私達のクラブに御指導、御批判をよろしく願います。

本日は本当におめでとうございます。

岩国高校プレクトラムアンサンブル

部 員 一 同

ホテル・レストラン・喫茶・給食 材料卸
キッコーマン醤油・マルカン酢・ギャバンスパイス
雪印アイスクリーム 特約店

大 田 商 店

食品問屋 (本店) 岩国市今津町5-5-9
TEL 23-0345(代)
業務用食品専門店(駅前店)岩国市麻里布町4-2-14
TEL 21-2573

—あすへのやすらぎを—

宿泊に



岩国ビジネスホテル

会議・会食・宴会に レストランI.B.H

〒740 岩国市麻里布町3丁目2-22 TEL (0827)22-1341 (REP)

PROGRAM

《第Ⅰ部》

指揮者 中里文昭

- ローマ・トリノ D. ジョバンニ
- 浪漫的間奏曲 A. カペレッティ
- 我等が懐しき山々に D. ジョバンニ

《第Ⅱ部》

関東、関西在住メンバーによる小合奏

関東の部

- プレクトラム A. アマデイ
- ゴンドラの唄 E. メッツァカーボ
- カバレリア・ルスティカーナ前奏曲 マスカーニ

関西の部

指揮者 山根道広

- ファンダンゴ F. ワルター
- 組曲6番 H. アンプロシウス

《第Ⅲ部》

指揮者 尾園勝善

- マンドリンの群れ C. A. ブラッコ
- 夏の庭 P. シルベストリ
- 劇的序曲 A. カペレッティ

曲目解説

Roma-Trino (ローマ・トリノ)

Domenico De Giovanni

彼の作品を通観すると、その曲の構想の上にまた技巧の上に常に一定の型を見出すことができる。このことは彼が独自の境地を確立していたことを示す一方、作曲家としてはあまり広い領域を有するものではなかったことも示している。

曲はAllegro moderato とかなり速いテンポで低音部の奏するホ短調の導入部を経て不安定に始まり、少し落ちついたところでAndante sostenuto に入る。ここでは主として第一マンドリンとギターの二重奏で歌うように静かに流れ、夢みるようなワルツを想わせる12/8のPoco piu へと導かれる。その後一転して曲は短いAllegro vivo を通った後、最も特徴的な2/4のAllegrettoへと移る。

「大展覽会への序曲」と題されているこの曲は、激しくたぎる力の最初のAllegro、静かで堂々と美しく旋律を持つAudaufe、再び激しく、しかも古さを感じさせるようなAllegro、軽快なテンポのMosso、そして走るような終曲を、五つの部分に分けることができる。

Intermezzo Romantico (浪漫的間奏曲)

A. Cappelletti

作者A. カベレッティは、今世紀はじめイタリアの古くから伝統をもっていた「チルコロ・マンドリニスティコ・フローラ（フローラマンドリン合奏団）」の指揮者であったが、後年ウンベルト・ゼッピーにその地位を譲った。彼の在任中は、1906年にイル・プレットロ主催の第一回作曲コンクールで、A. アマデイの「プレクトラム讃歌」に続いて、合奏団の名を冠した自作「フローラ」が第2位を受賞している。1907年にベニスで開催されたコンクールを初め多くの競演会に「フローラ」を優勝させている。代表作としては、1911年イル・プレットロ主催第四回コンクールにおいて、ファルボの名作「ニ短調序楽」ラウダスの「ギリシャ風主題に依れる序楽」に伍して第1位に選ばれた「劇的序楽」がある。

この「浪漫的間奏曲」は、単純な構成の中に、イタリアマンドリン音楽の文字通り浪漫的な色彩を見事に音に移している。マンドリンの主題が耳に非常に心地よく響く小品である。

贈答用花束・花籠

あざみ生花店

活花教室 麻里布町4丁目3-3
☎ 21-3793

広上歯科医院

院長 谷本 洋一

岩国市今津町3丁目17-4
TEL 21-0551

Sui Nostri Monti (我等が懐しき山々に)

Domenico De Giovanni

作者は19世紀中頃、イタリアのボローニアに生まれた。1879年頃よりその才能を認められ、1883年同市のReale Accademia Filarmonica 付属の吹奏楽団の教授達より、作曲家、指揮者として十分な技術あることを証せられた。パレルモ、ローマ、トリノ、フィレンツェ等に於ける作曲コンクールに応募して賞を得た。作品には、管弦楽、オペレッタ、声楽曲、弦楽四重奏楽、吹奏楽があり、マンドリン合奏曲も判明し得るだけでも30曲ある。我国でも「アンデスの花」、「シンプロトンネル開通祝賀序曲」、「ト調の序曲」、「夜の印象」、「ローマ・トリノ」等、しばしば紹介されている。

本曲名を直訳すれば、「我らが山々に」となるが意味が判然としないので、作者が郷土を同じくする人々と日々親しんだ山々に寄せる感慨、懐しさを歌ったものと解した田園風セレナータ。

本曲は1897年、フィレンツェの出版社ラビーニが主催した吹奏楽作曲コンクールに人賞したもので、翌1898年に出版された。非常に珍しいことは、主体の吹奏楽曲にマンドリンとギターを加えたことである。これは作者がマンドリンとギターに愛着を持っていたこと、当時これらの楽器が上下を挙げて持て囃され興隆する最中にあったことによるものであろう。屢々現われるギターの伴奏を持ったマンドリンの独奏の部分は異なっているが、原曲でもこの儘である。作者には多くのマンドリン曲があり、埋もれてしまうには惜しいということで、マンドリンオーケストラに数年前編曲されたものである。

いつでもお気軽にお立寄り下さい

喫茶 **鈴蘭**

岩国市麻里布町2号国道筋
TEL 22-8222

レディースファッションの店

洋装の **ふみ**

岩国市岩国1丁目15-16 TEL 41-1331

曲目解説

(Suite Nr.6 für Zupforchester) 組曲6番

ヘルマン・アンブロシウス

本曲は5つの舞曲によって構成されている。各楽章にわたり旋律に自由な変化をもち、各楽器の結合には細心の注意が払われて対位法によって書かれている。1935年、ケルンにおける第7回ドイツマンドリンギター音楽祭において初演された。1935年、ライブチッヒのMusik im Volk 社から出版されたが、現在はベルリンのRagotzky 社より出版されている。

Hermann Ambrosius について

ドイツの作曲家であり、音楽著述家、ハンブルグに生まれ、間もなくライブチッヒに移り定住し、音楽学校に入ったが第一次大戦のため音楽を中断、戦後再び勉強を始め音楽大学でハンス・フィッツナーに師事し作曲法を学んだ。

1925年、ライブチッヒの放送局に勤務するようになってからは、マンドリン・ギター等の音楽に興味をもつようになり、当時一般大衆に親しまれていたバンドネオン、チターを含め、これらの楽器に対して純粋な音楽を与える必要性を痛感し、1926年よりこれらの楽器に対する作品を発表しはじめた。そして1933年、最初のマンドリン合奏曲として発表したのが「組曲六番」である。この曲は、当時行詰っていたドイツのマンドリン界に大きな衝撃を与え、オーケストラの模倣に近かったそれまでのドイツマンドリン音楽を一変させた。いわば現代ドイツマンドリン音楽の原点とも云える作品である。

彼の作品は「組曲六番」の他「二つのマンドリンとマンドラのための協奏曲」に代表される一連のマンドリン曲の他、室内楽、ギター独奏曲等があり、フルトベングラーやラベルも彼の音楽活動に讃辞をおくっている。第二次大戦後の彼の活動は戦前に比べ活発なものではないが、失われた音の世界を取り戻すべく努力中、とのことである。

Mandolini a Congresso (小交響曲 マンドリンの群れ)

C. A. Bracco

作曲者ブラッコは19C 半ば頃に北部イタリアで生まれたということ以外、彼の生いたちについて知られていない。19C 末期に至り作曲家、指揮者として活躍し、1903年に世を去っている。

彼の作品中、一般にはカルソーの歌った一歌曲のレコードのみによってしか知ることはできない。彼はプレクトラム音楽のためにも「ロマンツァ」等の秀れた作品を残しているが、すでに1895年には、「イル・マンドリーノ」誌上にその作品を発表している。

おしゃれなあなたの憩いの館

BEAUTY-ROZARIO

婚礼着付・毛髪化粧品・JM化粧品

ロザリオ美容室

岩国市岩国1丁目14-14 (☎741) ☎ 43-2134



パートナーシップでむすばれたお店
のシンボルサイン……

HOYAメガネ取扱店

メガネの野村

岩国駅前中央通り(交通公社隣)

岩国(0827) TEL 21-2671

この「マンダリンの群れ」は1902年プレクトラム誌「イル・マンドリーノ」の作曲コンクールで金牌を得、自分の指揮するジェノバ合奏団に贈ったものである。同年「イル・マンドリーノ」誌より出版され、非常に歓迎を受け1909年フランスでの国際コンクールでのほとんどの合奏曲がこの曲を演奏し、審査員を驚かせたほどである。

この曲のいたる所に出てくる旋律は単純なもので、それが少し形を変えたりテンポを変えたりしながら初めから終わりまでの主要な部分を成している。

とかく旋律に頼りがちなマンダリン合奏の中では特異的な存在として見られ、マンダリン音楽界に一時代を画した名曲として注目されよう。

Allegro

13小節目に主題が現われスタッカートの強いリズムに乗せて強烈なアクセントを持って流れる。やがて二短調が二長調に転じ、次第にゆったりと静かになり続いて第2主題が弱奏で現われ盛り上がりを見せ再び第1主題が現われて終わる。

Adagio

この楽章は展開部で非常にゆったりとしたテンポでのびのびと作曲者がイメージを表現している。第1主題の展開はマンドラとマンドチェロによって歌われ、続いて二長調に転調されてマンダリンが受け継いでいる。これより調、拍子、テンポが思うままに駆使されて見事な展開が繰り広げられる。

Finale Allegro

最初と同じテンポ形式もほとんど同じようにして再現される。中程でマンダリンが第1主題を奏すると同時にギターとマンドチェロがスタッカートで豪快に動くのは注目される。テンポは一度遅くなり消えかけた時、突然主題が表われ、そのまま流れ込むように終る。

OUVERTURE DRAMATIQUE (劇的序曲)

A. CAPPELLETTI

本曲はマンダリン曲では数少ないソナタ形式で構成された曲である。

導入部は本曲の最も重点がおかれていると思われる部分でかなりの長さを有する。イ短調の鋭い始まりはいかにも劇的である。フガートの部分を経て、激しいテンポ変化の後、提示部に入る。提示部は24拍子から成り、すべてAllegro vivaceで進行しているが、美しい第2主題は、本来、ゆったりした感じを持つものである。展開部では、第1主題と第2主題が激しい転調のもとに長く交錯していく。そして型どおりの再現部を経て、コーダへと突入するのだが、このコーダは、導入と比べるとあまりにもあっけなく、重要性ももたない。ちょっとアンバランスな感じがしないでもないが、マンダリンオリジナル曲では、非常に美しい、構成を持った曲と言えよう。(指揮者記)

躍進する奈加観光チェーン

奈加観光チェーン

くらしの奈加

くらぶ 奈加-岩国店
山口県岩国市麻里布町6-3-17
電話 岩国 (0827) 22-6466・6467番

くらぶ 奈加-徳山店
山口県徳山市飯島町2丁目8号
電話 徳山 (0834) 21-7705・9028番

くらぶ 奈加-山口店
山口県山口市泉都町9-22
電話 山口 (08392) 2-3818・5435番

くらぶ 入船-小郡店
山口県吉敷郡小郡町駅通り
電話 小郡 (08397) 2-0292・0247番

スタンド 奈加
山口県徳山市飯島町2丁目8号
電話 徳山 (0834) 21-0708番

指揮者 中里文昭 (柳井信用金庫)
尾園勝善 (カワイ楽器)

コンサートマスター 新井義悠 (長崎屋)
司会者

○印はパートリーダー

(1st Mandolin)

○ 新井義悠
○ 田村隆司
山添修志
近間正樹
江口道子
江口裕子
山根秀憲
足立真知子
藤沢育子
弘津賀子
浜田純子

(2nd Mandolin)

○ 山根義広
前田慶恒
峯由美子
新井恭子
牧田むつ子
西村美由紀
尾崎悦子
舛本加代子
吉国浩子
山中幸則
村由哉

(Mandola)

○ 釘屋時夫
柴田利和
松重正清明
金丸真明
占部則義
貴船宏子
山浦下修
浦島宏子
四元誠

スナック喫茶

ヒューマンプッザ

岩国市今津町 (1番街)
TEL 22-5456

さかえ寿司

岩国駅前有楽街 (電)21-1795番

Member

会 長	三 浦	孔 修	司 志
幹 事	山 添	由 勝	哉 善
運 営 委 員 長	中 村	園 勝	夫 和
技 術 委 員 長	尾 釘	屋 時	利 昭
会 計	柴 田	利 文	
財 産 管 理	中 里		
楽 譜 管 理			

(Guitar)

○ 松 塚 展 門
 森 上 吉 夫
 中 須 弘 明
 尾 賀 勝 善
 石 園 悦 子
 鈴 崎 久 美
 小 田 隆 子
 中 須 賀 義 啓
 河 吉 村 松 庸
 末 岡 成 忠
 小 田 一 啓
 船 野 亮
 矢 中 光
 広 本 直
 山 本 甲
 藤 胃

(Mandolin Cello)

○ 山 本 芳 生
 山 根 道 広
 石 川 善 久
 中 里 文 昭
 長 藤 雅 則
 山 崎 庸 生
 中 村 浩 二

(C. Bass)

○ 安 田 英 雄
 藤 岡 寛 治
 藤 島 寛 三
 波 羅 村 由 哉
 中 川 孝 司
 山 崎 啓 正

(Percussion)

中国 智 美

(Timpani)

吉本屋 政 幸

創業慶応二年古き歴史と新しいセンス

茶善呉服店

岩国駅前中通りアーケード街
 駅前店 ②②-0529 (代表)
 岩国 今津店 ②①-1370

目の効く人の宝石店

Ω OMEGA ショップ



時 計
 宝 石
 メガネ



岩国店 / 岩国市麻里布町6丁目5-17 TEL.0827225988
 和本店 / 玖珂郡和本町597-1 TEL.08275(2)3017

II部出演者

関 東

1st 新井 義 悠
2nd 新井 恭 子
藤 島 寛 治
Dola 谷 川 秀 明
高 林 繁 生
Guitar 中須賀 弘 明
中須賀 義 治
Bass 藤 岡 寿

関 西

1st 松 重 正 清
森 近 恵 子
2nd 花 岡 澄 代
海 島 秀 子
松 村 紀
Dola 金 丸 真 明
占 部 則 義
安 田 友 子
Guitar 岩 本 充 義
富 永 隆 行
末 岡 成 基
矢 野 啓 子
Cello 長 藤 雅 則
山 崎 庸 生
Bass 山 崎 啓 正

指 揮 山 根 道 広

時計・宝石・メガネ

杉 田 時 計 店

(銀座店) 岩国市岩国2丁目16-21
TEL ④ 0 2 5 9 番
(1番町店) 岩国市今津町1丁目7-15
TEL ② 3 4 3 6 番

京都きものコンサルタント協会指定校(会長 石田博英)

心のふれあう着付教室…完璧な和装美を創る

趣味と実益を結ぶ組ひも教室

全国どこでも活用できる免許が貴女の幸せを支えます

京都きもの学院

岩国事務局

岩国市麻里布町1丁目4番1号 第2新岩国ビル6F
電話 23-2000番

岩国市民マンドリンクラブ紹介

私たちのクラブは、社会人のクラブとしては非常にユニークなものです。昭和33年8月に第1回の演奏会を開いて以来、その母体は岩国高校プレクトラムアンサンブルのOBたちであります。高校を卒業し、大学に進学した者、就職した者が、そこで知り合った人たちを誘って演奏会に出てくるようになりました。また岩国以外の地に就職しても夏には帰って来るといふ熱心な人たちがばかりです。

メンバーの年齢層も厚く、親子ほど年がはなれている人たちが一同に集まり曲作りをしているのです。ただ、年に全メンバーが集まることのできる機会がほんの数日しかないので、合奏練習の内容もきびしいものになります。しかし、皆の顔がみられるということで、毎年夏には帰ってくるのです。

通常練習（毎週土曜日19：00～21：00中央公民館）には、メンバーの約々集まれば、いいほうなのですが、演奏会が近づくにつれて参加人数も増していきます。

今年は、関東及び関西に在住するメンバーで、二部のステージをもってもらいました。来年には、市民会館が出来上るといふことですので、また新しい企画で演奏会を開きたいと思ひます。

最後に、今回の演奏会を開催するにあたり、御協力いただきました関係各位の方々に紙面をお借りして誠に恐縮ですが、心よりお礼申し上げます。

（運営委員長 中村由哉）

ICMCでは、メンバーを募集しております。イタリアでは、マンドリンは家庭用の楽器として、広く普及しているそうです。興味のある方は、是非一度、おたちよりください。

練習場所 岩国市中央公民館

日時 毎週土曜日19：00より

連絡場所 岩国市麻里布町一丁目7-13
中村由哉方 ICMC事務局
電話 (0827) 21-5546

山陽路・山陰路につづる — 青春の旅

岩国ユースホステル

（ユースホステル）は、宿泊に限らず各種会合にも巾広くご利用いただけます。

●昼食・休憩 ●研修会 ●講習会 ●懇親会 ●茶会（茶室完備）
その他

岩国市横山一丁目10-46 ☎741 ☎ (0827) 43-1092
ヨミ イワクニ

山口県

毛利公

御進物・御見舞カステーラ

風月堂

山口県岩国市岩国二丁目 TEL (0827) 41-0401

IWAKUNI
CITIZEN
MANDOLIN
CLUB

